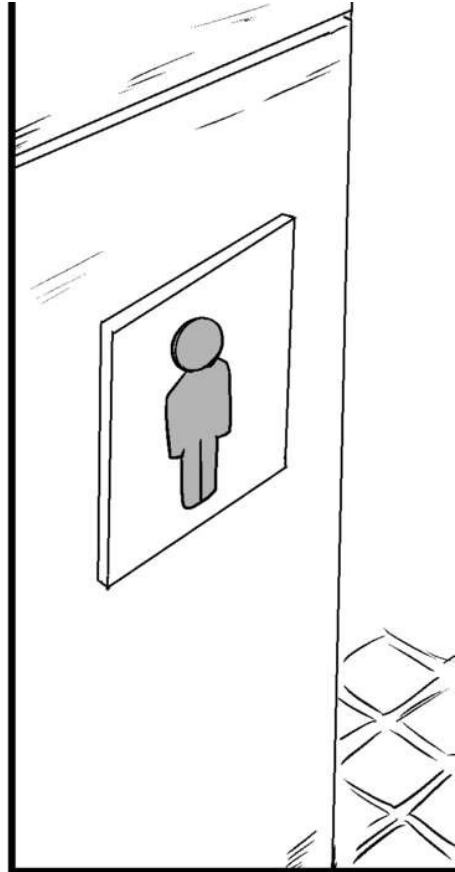




ごめんよお、
先生間に合いそうに
ないからさあ…



ここ生徒専用ですよ
せんせえ…



先生のしよんべん…
すげー音…

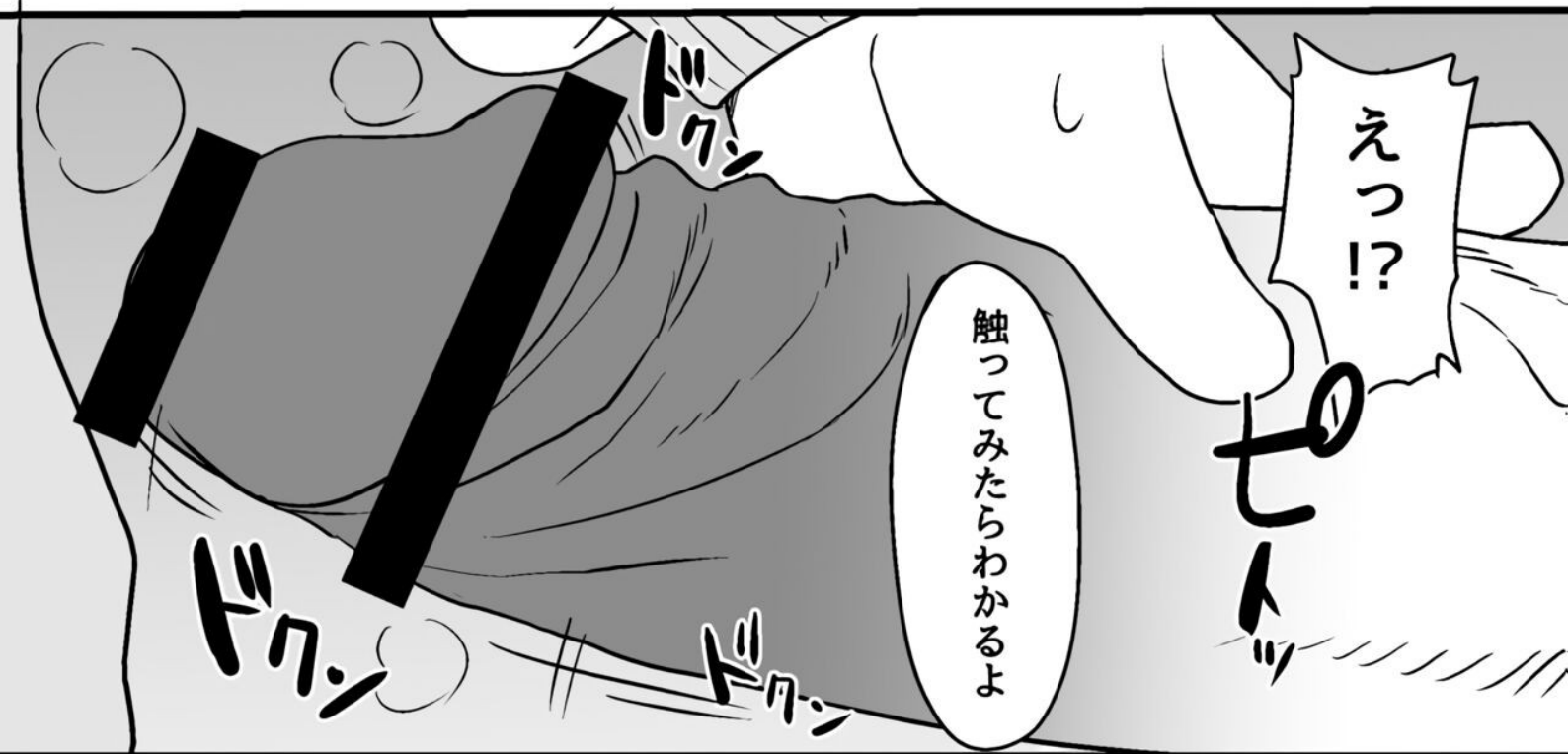


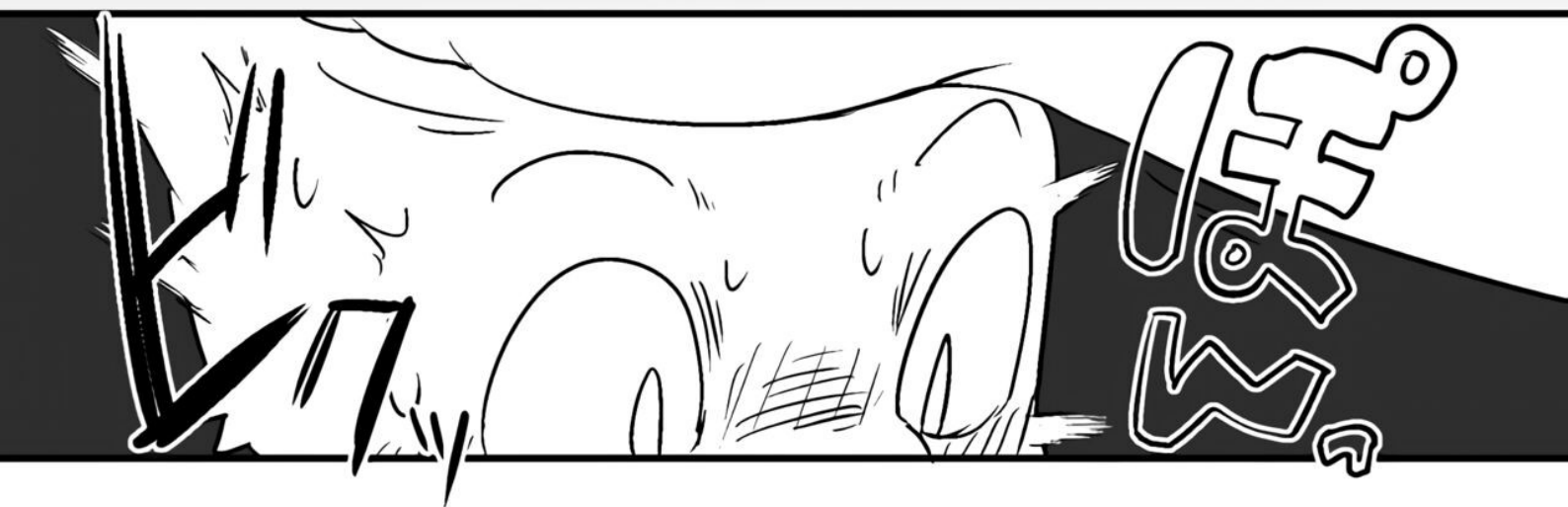
ふい…

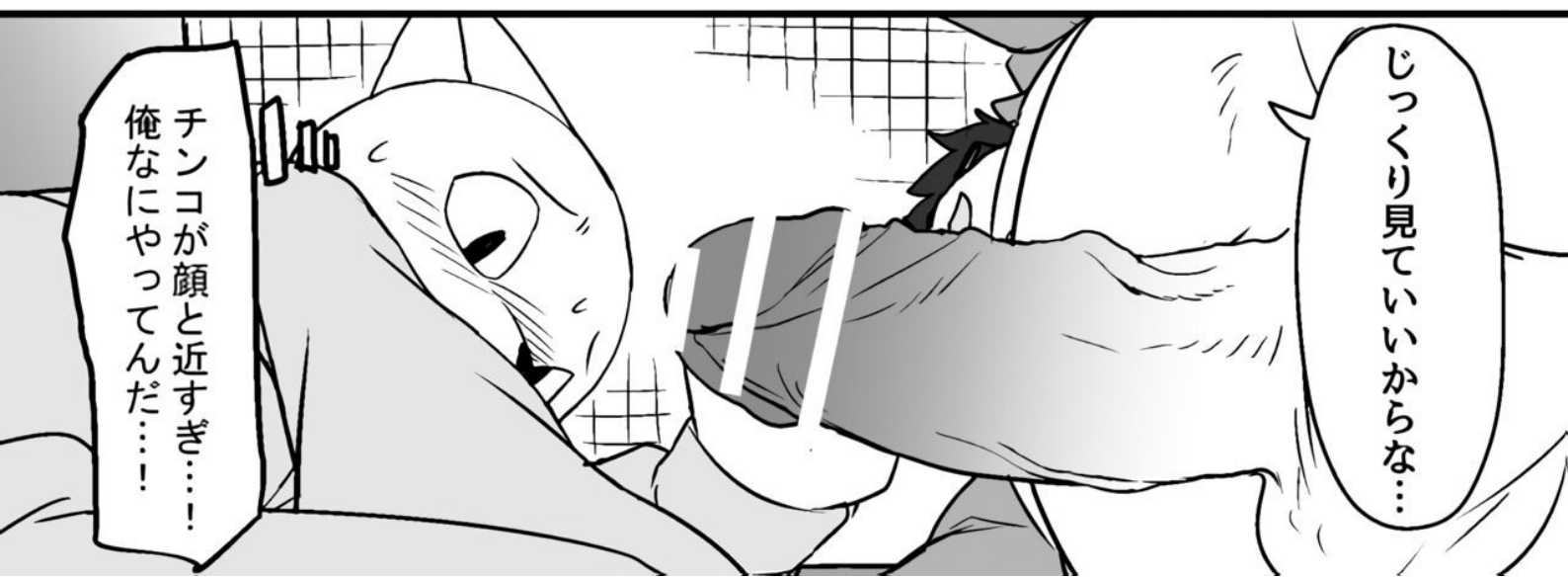
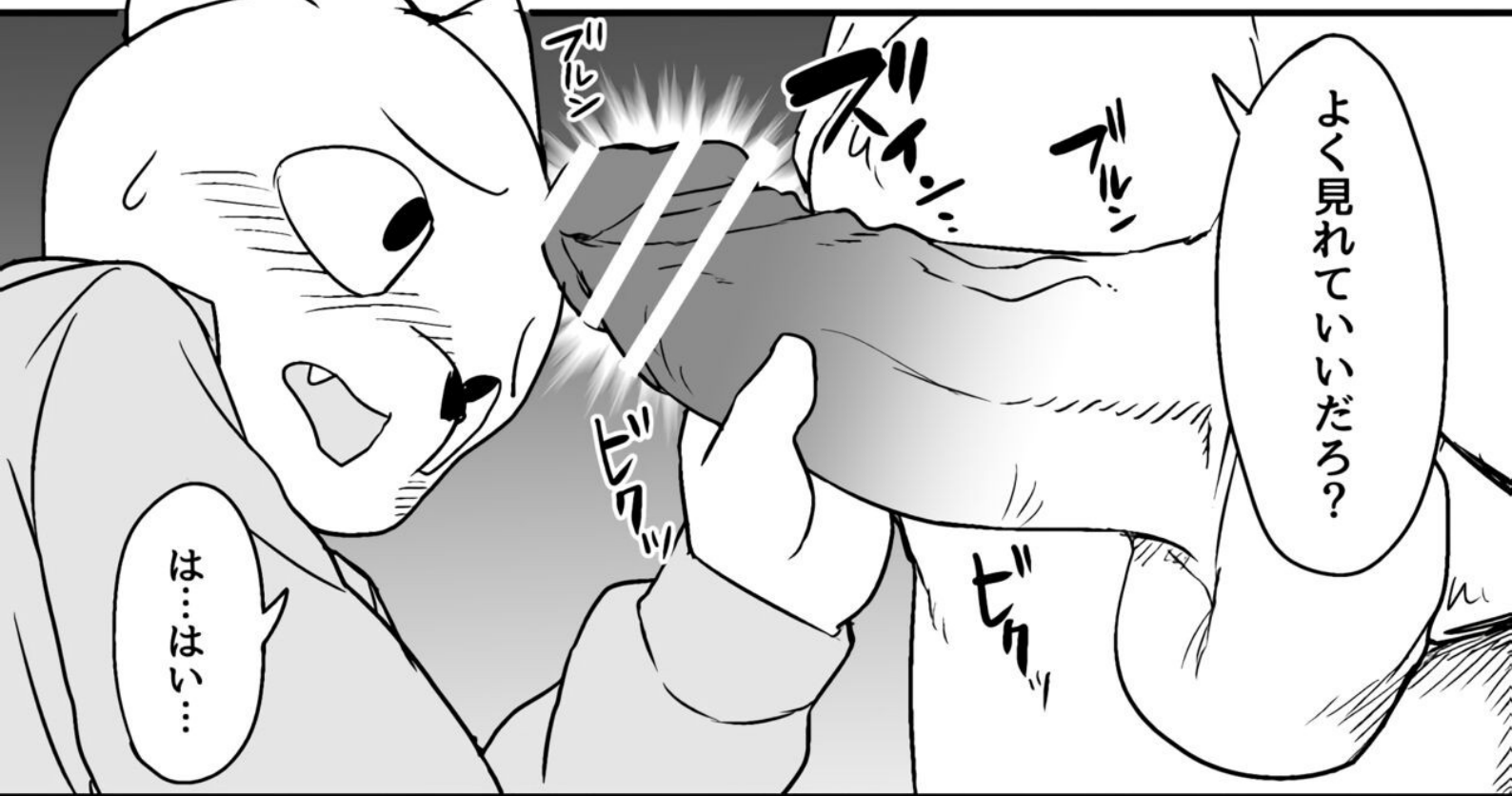
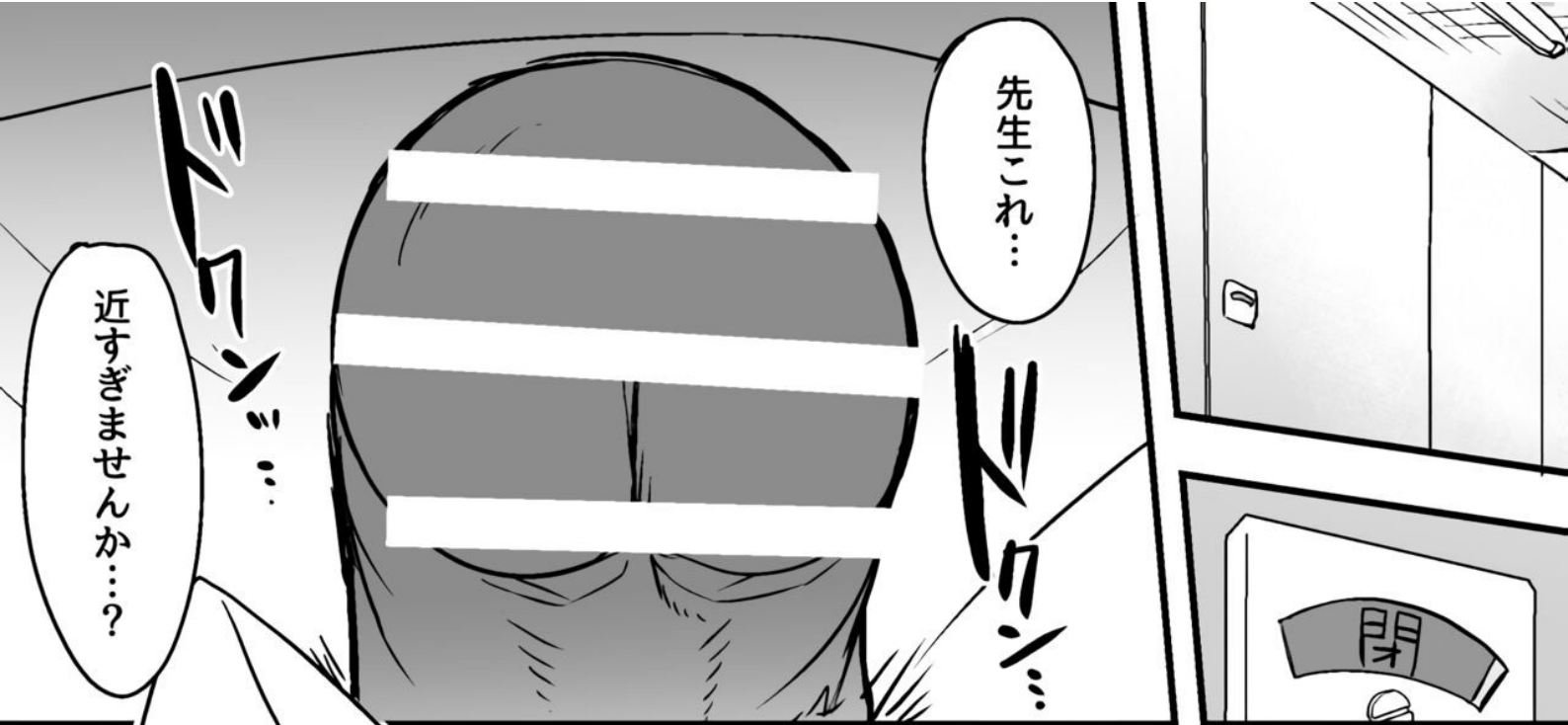
じゅぽぽぽ…

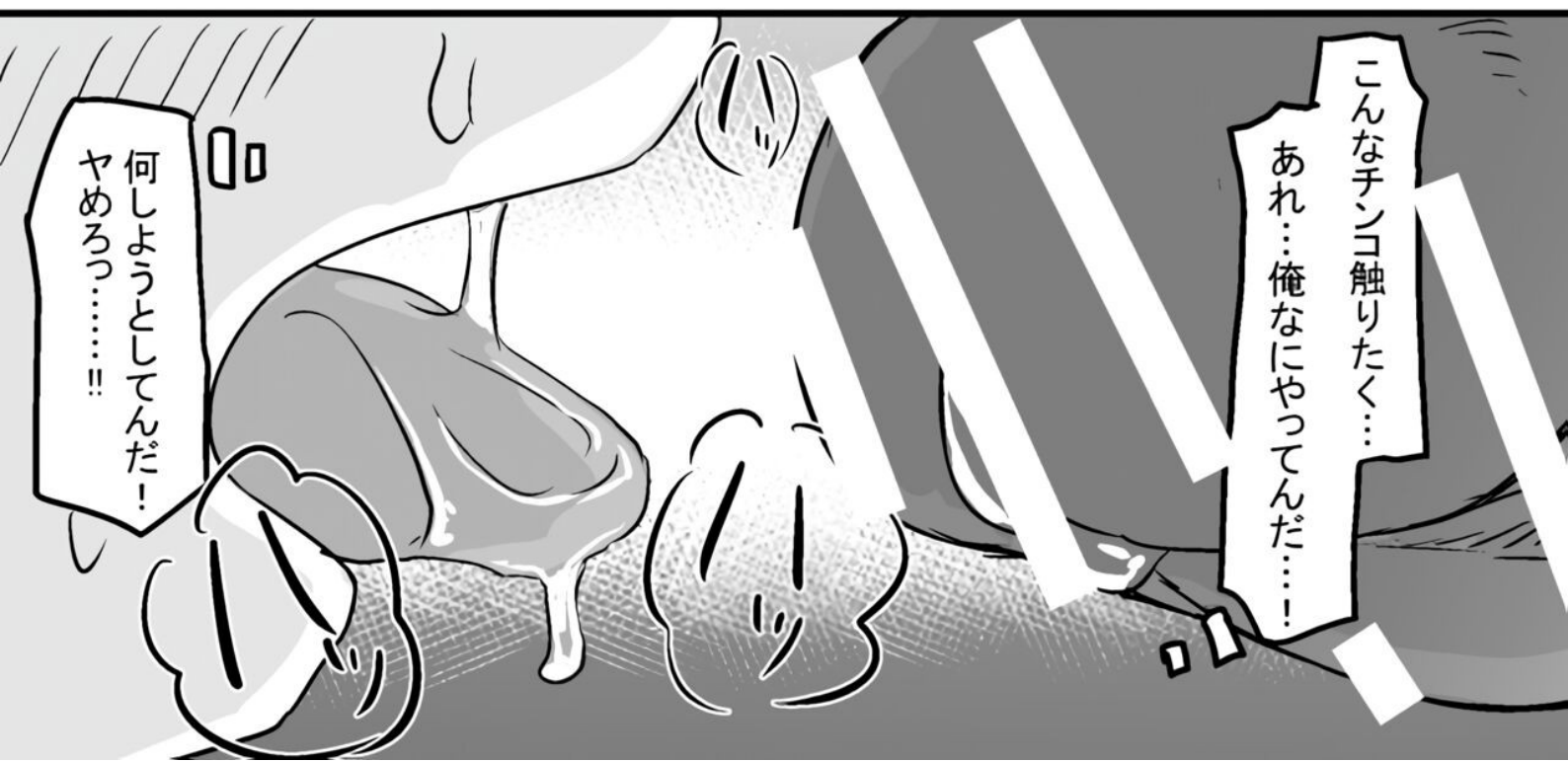
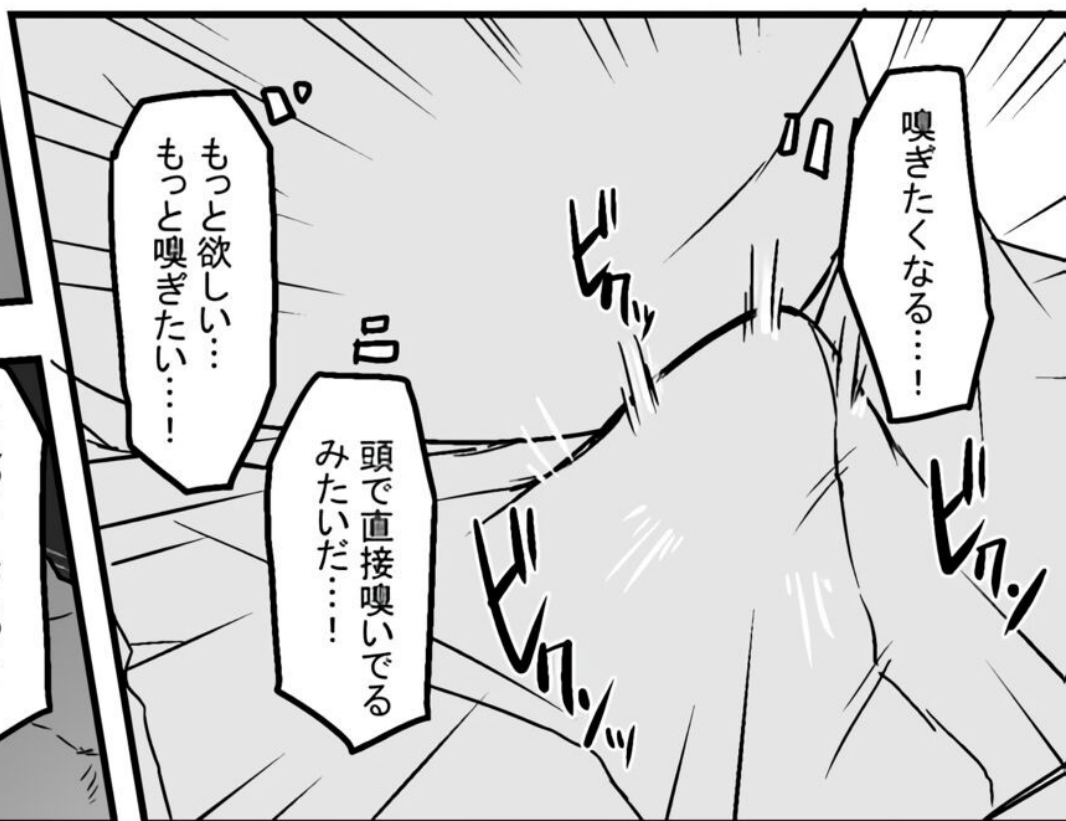


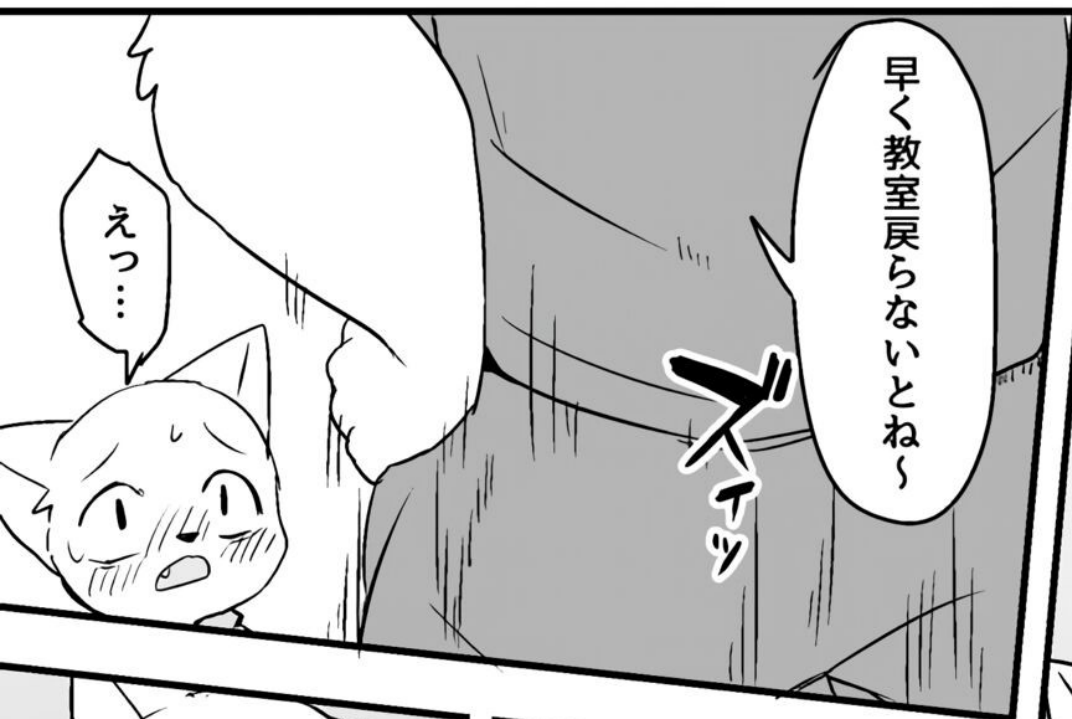














先生はなにを
したかったんだろう…

あのとときチャイムが
鳴らなかったら…

あのととき
舐めてたら…!!

おいってば!

大丈夫かい?

…い

セクッ

言わなきゃ…!

残るなら
カギ閉めとして

行ってしまふ…

聞かなきゃ…

よろしく

えっ…

みんなもう帰ったし
先生も職員室帰るから

先生のちんこ
舐めたいです!!

いっ……!!

言っちゃったあゝ……!!

恥ずかしいっ……!!





今日は
俺の家に泊まれ…

月曜日には
身も心も別人に
してやる

親には友達の家
泊まるって言つとけ…

わかったか？

そこから先生の家に
着くまでの記憶は
ほとんど無い…



次にハッキリと
覚えているのは…

卒業まで
先生の雌になると
誓ったことだ